amadana

http://www.amadana.com/

デスクトップオーディオ2
Desktop Audio 2

AD-203

日本語　P.2～18，P.41～43
English　P.19～38

取扱説明書

INDEX

3〜5	安全上のご注意
6〜8	各部のなまえとはたらき
9	本機を使用する前に / 時計を合わせる
10	基本操作
11	CDを聞く
12	iPodを聞く
13	ランダム再生／リピート再生 / 外部機器を聞く
14	アラームを設定する
15	アラームを止める / スリープを使う
16〜17	故障かな?と思ったら
18	CDについて / 製品の取り扱いについて
41	アフターサービス
42	「amadana」カスタマー登録のお勧め
43	デスクトップオーディオ2 保証書

REALFLEET

REALFLEET co., ltd. m² Harajuku 5F, Jingumae 6-27-8,
Shibuya-ku, Tokyo Japan 150-0001 tel: 03-5774-0947 fax: 03-5467-0431
info@amadana.com

安全上のご注意

このたびは amadana デスクトップオーディオ2をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前に必ず本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、ご使用中にわからないことやトラブルが生じた時のために、お読みになった後は必ず保管してください。

安全のための表示について

ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
その表示と意味は、次のようになっています。

この表示を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる内容を、2つに区分しています。

⚠ 警告:人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

⚠ 注意:人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

本文中の絵表示の意味です。

⚠	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「〜しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

⚠ 警　告

電源/電源コード

必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。

プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
■ 異常なにおいや音がする。　■ 異常に高温になる。
■ 内部に水や異物が混入した。　■ 煙が出る。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

禁止

電源コードを傷つけない。
■ 重いものを上に載せない。　■ ステープルで止めない。
■ 加工をしない。　■ 熱器具には近づけない。
■ 無理な力を加えない。
芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

必ず実行

必ず AC100V (50/60Hz) の電源電圧で使用する。
それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

電池

禁止

電池を充電しない。
電池の破裂や液もれにより火災やけがの原因になります。

禁止

電池からもれ出た液には直接触れない。
液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。

分解禁止

分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。
火災や感電の原因になります。
修理・調整は販売店にご依頼ください。

設置

水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。
■ 浴室・台所・海岸・水辺
■ 加湿器を過度にきかせた部屋
■ 雨や雪、水がかかるところ
水の混入により、火災や感電の原因になります。

水ぬれ禁止

放熱のため本機を設置する際には：
■ 布やテーブルクロスをかけない。
■ じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
■ 仰向けや横倒しには設置しない。
■ 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
（本機の周囲に左右 10cm、上 10cm、背面 10cm 以上のスペースを確保する。）
本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。

使用上の注意

水ぬれ禁止

ディスクの挿入口や、放熱用の通風孔、パネルのすき間から金属や紙片など異物を入れない。
火災や感電の原因になります。

必ず実行

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

接触禁止

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。
感電の原因になります。

禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。
水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。
接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。

手入れ

必ず実行

電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。
ほこりがたまったまま使用を続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。

⚠ 注　意

電源/電源コード

プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災や感電の原因になります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。

禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

必ず実行

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。
差し込みが不充分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。

禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。
感電や発熱および火災の原因になります。

電池

必ず実行

電池は極性表示 (プラス＋とマイナス－) に従って、正しく入れる。
間違えると破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

禁止

指定以外の電池は使用しない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

禁止

電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。
電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

禁止

電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

必ず実行

使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り外す。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

必ず実行

使い切った電池は、自治体の条例または取り決めに従って廃棄する。

設置

禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。

禁止

直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所 (暖房機のそばなど) には設置しない。
本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。

禁止

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。

必ず実行

他の電気製品とはできるだけ離して設置する。
本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。

必ず実行

屋外アンテナ工事は販売店に依頼する。
工事には、技術と経験が必要です。

移動

プラグを抜く

移動をするときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。
接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

使用上の注意

必ず実行

再生を始める前には、音量 (ボリューム) を最小にする。
突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。

禁止

音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。

禁止

大きな音で長時間ヘッドホンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。

禁止

ディスクスロットには手を入れない。
本機のメカニズムに手を引き込まれ、けがの原因になります。

禁止

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクを使用しない。
ディスクは、機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因になります。

注意

環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。
正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。

禁止

レーザー光源をのぞき込まない。
レーザー光が目に当たると、視覚障害の原因になります。

禁止

業務用機器とは接続しない。
デジタルオーディオインターフェース規格は、民生用と業務用では異なります。本機は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。
業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、本機の故障の原因となります。

手入れ

必ず実行

手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。
感電の原因になります。

禁止

薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

注意

年に一度くらいは内部の掃除を販売店に依頼する。
ほこりがたまったまま使用を続けると、火災や故障の原因になります。

各部のなまえとはたらき（本体）

上 面

表示部

操作パネル（次ページ参照）

iPod端子

付属品

リモコン

リモコン用ボタン電池（CR2032）

電源コード

取扱説明書（本書）

電源アダプタ

保護フィルム（P.12参照）

正 面

iPod端子

ディスクスロット

アラームマーク

時刻表示部

ヘッドホン端子

リモコン受光部

背 面

電源端子

外部機器入力端子

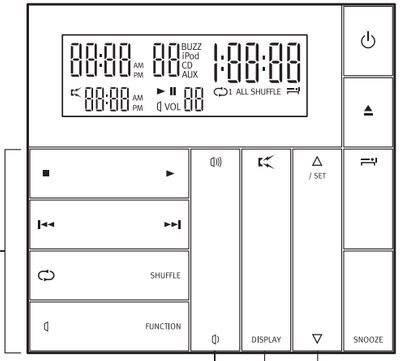
対応iPod

- iPod 4th generation 20GB
- iPod 4th generation 40GB
- iPod 4th generation (color display) 20GB 30GB
- iPod 4th generation (color display) 40GB 60GB
- iPod nano 1st generation 1GB 2GB 4GB
- iPod 5th generation (video) 30GB
- iPod 5th generation (video) 60GB 80GB
- iPod nano 2nd generation (aluminum) 2GB 4GB 8GB
- iPod classic 80GB 160GB
- iPod nano 3rd generation (video) 4GB 8GB
- iPod touch 8GB 16GB

iPodは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

各部のなまえとはたらき（操作パネルと表示部）

操作パネル



▶ **再生／一時停止キー**
再生を開始または一時停止します。

■ **停止キー**
再生を停止します。

▶▶| |◀◀ **スキップキー**
再生中のトラックまたは次のトラックへスキップします。
長押しすると、早送り／早戻しします。

SHUFFLE **シャッフルキー**
ランダムに再生します。

リピートキー
1曲または全曲をリピート再生します。

FUNCTION **ファンクションキー**
音源を切り替えます。

ミュートキー
消音します。

ボリュームアップキー
音量を上げます。

ボリュームダウンキー
音量を下げます。

電源キー
電源のON/スタンバイを切り替えます。

取り出しキー
CDを取り出します。

スリープキー
スリープタイマーを設定します。

SNOOZE **スヌーズキー**
アラームの音を一時的に中断します。
また、時刻の設定に使用します。

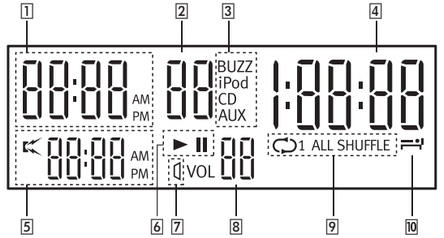
/ SET **アップキー**

ダウンキー

アラームキー
アラームのON/OFFを切り替えます。

DISPLAY **ディスプレイキー**
再生時間の表示方法を切り」替えます。

表示部



1 **時刻表示**
現在時刻を表示します。

2 **CDトラック表示**
CDのトラック番号を表示します。

3 **ファンクション表示**
選択されている音源を表示します。

4 **CD再生時間表示**
再生時間などを表示します。

5 **アラーム時刻とアラームマークの表示**
アラーム設定時刻の表示とアラームのON/OFFをアラームマークで表示します。

6 **CD再生表示**
CDの再生状態を表示します。

7 **ミュート表示**
消音が働いているときに点滅します。

8 **音量表示**
音量を表示します。

9 **CD再生モード表示**
リピート（1曲・全曲）再生時およびシャッフル再生時に点灯します。

10 **スリープマーク**
スリープタイマーが働いているときに点灯します。

各部のなまえとはたらき（リモコン）

赤外線送信部

電源キー
電源のON/OFF

アップキー

ダウンキー

スリープキー
スリープタイマーを設定します。

アラームキー
アラームのON/OFF

FUNCTION **ファンクションキー**
音源を切り替えます。

DISP **ディスプレイキー**
再生時間の表示を切り替えます。

再生／一時停止キー
再生を開始または一時停止します。

停止キー
再生を停止します。

スキップキー
再生中のトラックまたは次のトラックの開始位置にスキップします。

早戻しキー／早送りキー
早送り／早戻しします。

取り出しキー
CDを取り出します。

iPod **iPodキー**
iPod端子に接続されたiPodの再生を選択します。

CD **CDキー**
ディスクスロットに挿入されたCDの再生を選択します。

AUX **AUXキー**
外部機器入力端子に接続された機器の音声を選択します。

ボリュームアップキー
音量を上げます。

ボリュームダウンキー
音量を下げます。

ミュートキー
消音します。

1～9／+10 **ダイレクト選曲キー**
CD選択時のみ、直接トラック番号を選択し再生することができます。

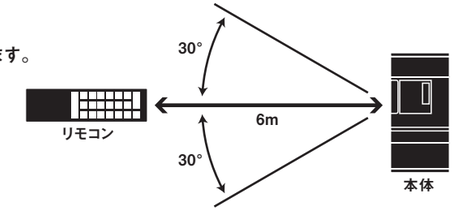
SHUFFLE **シャッフルキー**
ランダムに再生します。

REPEAT **リピートキー**
1曲または全曲をリピート再生します。

SNOOZE **スヌーズキー**
アラームの音を一時的に中断します。

リモコンで本機を操作するときは、リモコンの赤外線送信部を本体のリモコン受光部に向けます。
リモコン操作が可能な範囲は、本体から6m以内です。

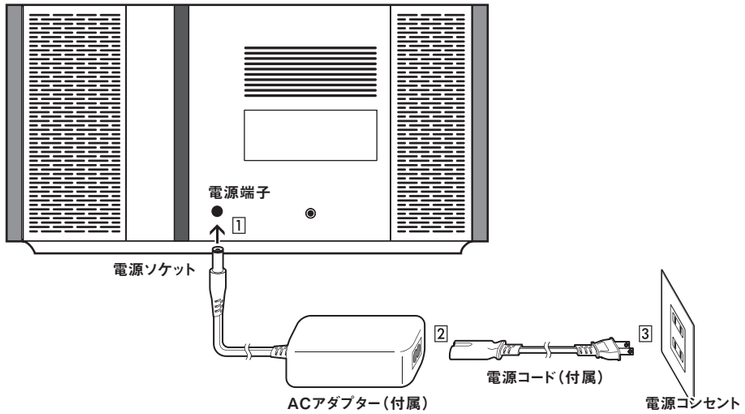
※操作できる距離が短くなったら、新しい電池と交換してください。
※リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当たると、
　正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。



リモコンの電池交換について（P.09参照）

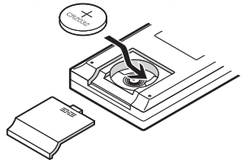
本機を使用する前に

本体背面の電源端子に電源ソケットを差し込みます。
電源コードをACアダプターへ接続し、プラグを電源コンセントへ差し込みます。



リモコンに電池を入れる

1 リモコンの裏にある電池ふたをスライドさせてあけます。
2 CR2032 型ボタン電池を入れます。
3 再び電池ふたをスライドさせながら閉じます。



- 電池の向き（＋／－）を正しく挿入してくた?さい。
- 使い切った電池はただちにリモコンから取り出してください。リモコンに挿入したままにしておくと、破裂や液漏れの 原因となります。
- 電池が液漏れしている場合は、ただちに電池をリモコンから取り出し、廃棄してください。その際、肌や衣服が漏れているバッテリー液に触れることのないよう十分ご注意ください。リモコンにバッテリー液が付着している場合はきれい に拭き取ってから新しい電池を挿入してください。
- 新しい電池に取り替える前に、電池ケースの汚れをふき取ってください。
- 使い切った電池は地域の条例または取り決めに従って廃棄してください。

時計を合わせる

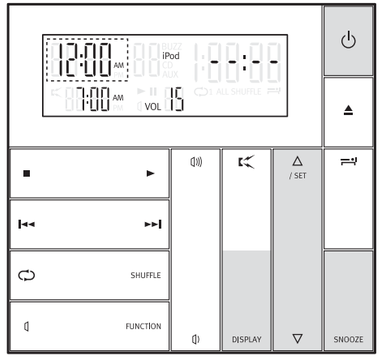
1 【電源キー】を押す
電源が入り、ディスプレイが点灯します。

2 【アップキー】を長押しする
長押しした後、一度キーから指を離します。

3 【アップキー】と【ダウンキー】を押して時間を合わせる
※このとき、【ディスプレイキー】を押すと
　12 時間表示と 24 時間表示の切り替えができます。

4 【スヌーズキー SNOOZE 】を押して確定する
※5 秒以内に押してください。

使用するキー



基本操作

音源を選ぶ

リモコン

【iPodキー iPod】【CDキー CD】【AUXキー AUX】を押す

または【ファンクションキー FUNCTION】を押します。

本 体

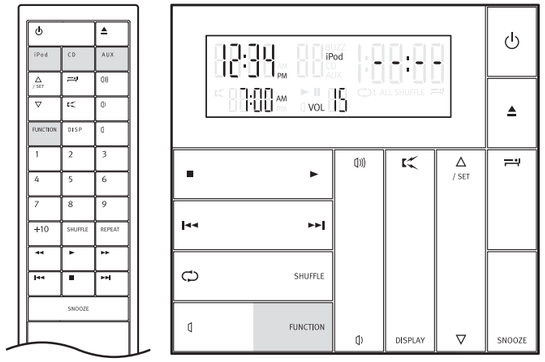
【ファンクションキー FUNCTION】を押す

【ファンクションキー FUNCTION】を押すたびに

→ iPod → CD → AUX（外部機器）

※表示部のファンクション表示に、
選んだ音源が表示されます。

使用するキー



リモコン　本体操作パネル

音量を調整する

リモコン　本 体

【ボリュームアップキー】または
【ボリュームダウンキー】を押す

ボリュームレベル範囲：0〜30

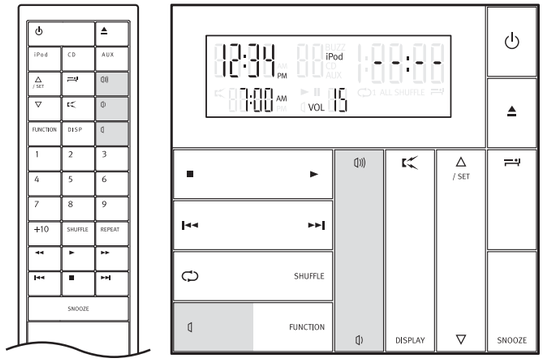
音を一時的に消す

リモコン　本 体

【ミュートキー】を押す

一時的に音が消えます。
再度音を出すにはミュートを押すか、
ボリュームキーを押してください。

使用するキー

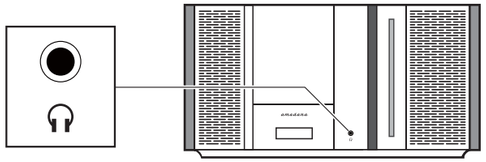


リモコン　本体操作パネル

ヘッドホンを使う

ヘッドホンのステレオミニプラグをヘッドホン端子に接続します。
ヘッドホンを接続するとスピーカーの音は消えます。

⚠注意	接続するときは、音量を下げてください。



CDを聞く

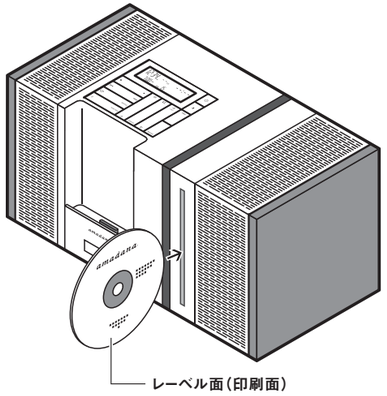
1 CD をディスクスロットへ入れる

レーベル面（印刷面）を右にして入れてください。
CD をディスクスロットに挿入すると、CD は自動的に
スロット内に引き込まれます。

※12cm ディスクのみ対応しています。
※ディスクを無理に押し込まないでください。
※ディスクスロットに異物を入れないでください。
※逆挿入や非対応のディスクが挿入されたときは排出されます。
※本機は、音楽用CD（CD-DA）フォーマットを再生できる仕様となっています。
CD-RやCD-RWに収録したMP3やWMAには対応していません。
（CDについて:P.18参照）

2 自動的に再生が始まる

CD がすでに本体へ入っている場合は、
【ファンクションキー FUNCTION】を押して CD を選択し、
【再生／一時停止キー ▶】押します。



再生を一時停止する

リモコン　本 体

【再生／一時停止キー ▶】押す

通常の再生に戻すに【再生／一時停止キー ▶】を再度押します。

トラックをスキップする

リモコン　本 体

【スキップキー ⏮ ⏭】を押す

早戻し／早送りする

リモコン

【早戻しキー ◀◀】または【早送りキー ▶▶】を押す

本 体

【スキップキー ⏮ ⏭】を長押しする

再生を停止する

リモコン　本 体

【停止キー ■】押す

曲を指定して再生する

リモコン

【ダイレクト選曲キー】を押して曲番号を入力します。

10 曲目以降は次のようにキーを押します。

- 11 曲目： +10 → 1
- 22 曲目： +10 → +10 → 2
- 20 曲目： +10 → +10 （3 秒後に再生が始まります）

CD再生時間の表示方法を切り替える

リモコン　本 体

【ディスプレイキー DISPLAY】を押す。

ディスクを取り出す

リモコン　本 体

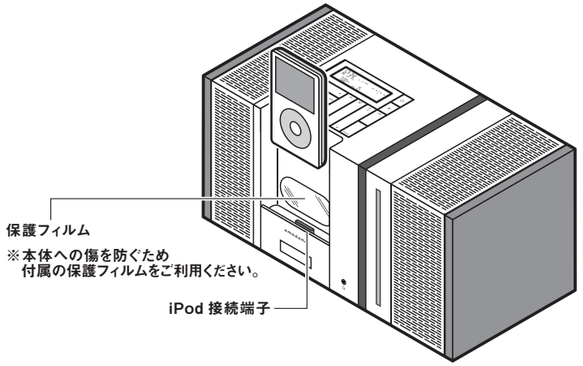
【取り出しキー ⏏】を押す。

iPodを聞く

1 iPod を iPod 端子へ接続する

2 【ファンクションキー FUNCTION 】を押して
iPod を選択する

3 【再生／一時停止キー ► 】を押して再生する



再生を一時停止する

リモコン　本　体

【再生／一時停止キー ► 】押す

通常の再生に戻すに【再生／一時停止キー ► 】を再度押します。

トラックをスキップする

リモコン　本　体

【スキップキー ⏮ ⏭ 】を押す

早戻し／早送りする

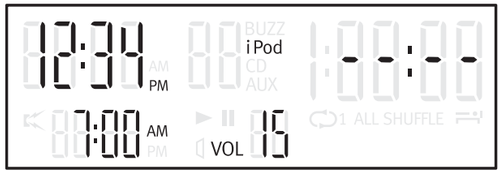
リモコン

【早戻しキー ◄◄ 】または【早送りキー ►► 】を押す

本　体

【スキップキー ⏮ ⏭ 】を長押しする

iPod 再生中は本体ディスプレイにトラック番号、
トラック経過時間などは表示されません。
iPod 本体のディスプレイをご確認ください。。



iPod 再生時のディスプレイ表示例

再生を停止する

リモコン　本　体

【停止キー ■ 】押す

ランダム再生／リピート再生（CD、iPod共通機能）

ランダム再生

リモコン　本　体

【シャッフルキー SHUFFLE 】を押す

リピート再生

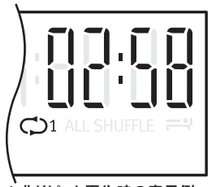
リモコン　本　体

【リピートキー 🔁 】を押す

【リピートキー 🔁 】を押すたびに
1 曲リピート → 全曲リピート（プレイリスト内リピート：iPodのみ）
リピート再生の解除

iPod 再生中は本体ディスプレイにランダム再生や、
リピート再生の再生モードの表示はされません。
iPod 本体のディスプレイをご確認ください。

ランダム再生時表示例



1 曲リピート再生時の表示例

全曲リピート再生時の表示例

外部機器を聞く

1 本体背面に外部機器を接続する

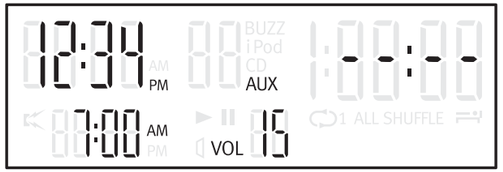
接続する前に、本機の音量を下げてください。
接続する外部機器は停止状態にしてください。

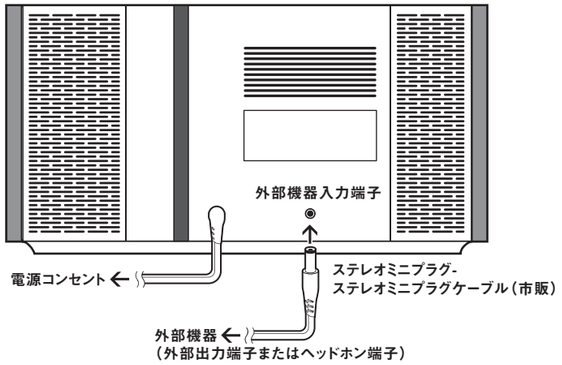
お持ちの機器の外部出力端子（またはヘッドホン端子）と
本機背面の外部機器入力端子を
ステレオミニプラグ - ステレオミニプラグケーブル（市販）で
接続してください。

2 【ファンクションキー FUNCTION 】を押し AUX を選択する

3 外部機器を再生する

外部機器の操作については、ご使用の機器に付属している
取扱説明書をご参照ください。





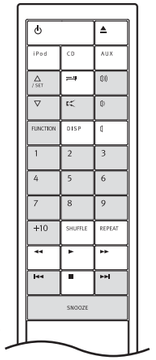
アラームを設定する

めざまし時計のかわりにCDやiPodなどお好みの音楽を鳴らすことができます。

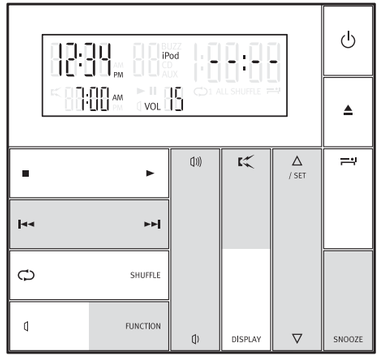
はじめに

アラームの設定（1〜4）が完了するまでに、5 秒間キー入力が無い場合、アラーム設定モードは解除されます。
再度設定する場合は 1 から始めてください。

使用するキー



リモコン



本体操作パネル

1 アラーム設定モードに入る

リモコン　本　体

【アップキー △/SET】を押す

アラーム設定時刻が点滅します。
※時計を設定していない場合、アラームの設定はできません。

2 アラーム時刻を設定する

リモコン　本　体

1【アップキー △/SET】またはを【ダウンキー ▽】を押し、
アラーム時刻を設定する。

リモコン　本　体

2【スヌーズキー SNOOZE】を押し、
アラーム時刻を確定する。

3 音源を設定する

リモコン　本　体

1【ファンクションキー FUNCTION】を押し、
音源（iPod/CD/BUZZ“ブザー”）を設定する。

【ファンクションキー】を押すたびに表示部が変わります

→ iPod → CD → BUZZ（ブザー）

リモコン　本　体

2【スヌーズキー SNOOZE】を押し、音源を確定する。

CD 選択時のみ

リモコン　本　体

3【スキップキー ⏮ ⏭】を押し、
再生トラックの選択をする。

リモコン　本　体

4【スヌーズキー SNOOZE】を押し、
再生トラックを確定する。

4 音量を設定し、アラームの設定を完了する

リモコン　本　体

1【ボリュームアップキー 🔊】またはを【ボリュームダウンキー 🔉】を押し、音量を設定する。

BUZZ 選択時のみ音量は 2 段階からの選択。（VOL Hi または VOL Lo）

リモコン　本　体

2【スヌーズキー SNOOZE】を押し、音量を確定し、
アラームの設定を完了する。

本体ディスプレイと
本体正面の時刻表示部の左に
アラームマーク🔔が点灯します。

本体正面

表示部

5 スタンバイ状態にする

リモコン　本　体

【電源キー ⏻】を押してスタンバイ状態にする。

※電源がスタンバイ状態以外のときには、タイマーの予約時刻になってもタイマーは動作しません。タイマーを動作させるには、必ず電源をスタンバイ状態にしておいてください。

アラームを停止する

アラームを停止する

リモコン　本　体

【アラームキー 🔔】、【停止キー ■】の順で押す

※アラームで起動したCDまたはiPodはアラームキーを押すまで操作できません。
※ブザーの場合、【アラームキー】のみでアラームは停止します。

スヌーズ機能を使う

スヌーズ機能：一時的にアラーム音を消し、5 分後再びアラーム音を鳴らす機能。

リモコン　本　体

【スヌーズキー SNOOZE】を押す

アラーム設定時刻より最長 60 分間有効です。

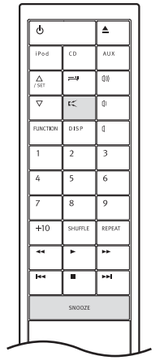
アラームのON（実行）/OFF（取り消し）を切り替える

リモコン　本　体

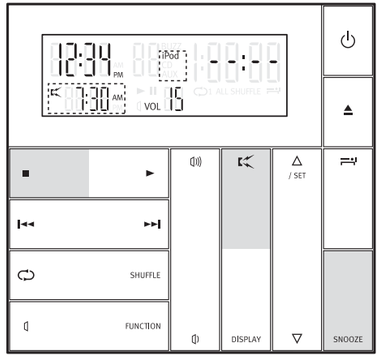
【アラームキー】を押し、アラームマークを点灯（ON）または消灯（OFF）させる

前回設定したアラーム時刻に再びアラームが鳴ります。

使用するキー



リモコン



本体操作パネル

スリープを使う

おやすみの時などに自動的に電源を切ることができます。

スリープタイマーを設定する

リモコン　本　体

【スリープキー】を押す

スリープキーを押すたびに設定時間が長くなります。
（最長 2 時間まで）

→ 10 → 20 → 30 → ・・・ → 2:00 → スリープマークが消えます（OFF）

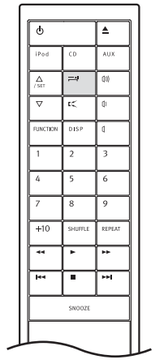
残時間を確認する場合

再度スリープキーを押すとCD再生時間表示部に
残時間が表示されます。

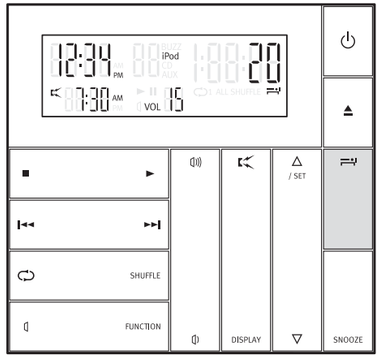
スリープを解除する場合

スリープマークが消えるまで、スリープキーを押してください。

使用するキー



リモコン



本体操作パネル

故障かな?と思ったら

使用中に本機が正常に作動しなくなった場合は、まず下記をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や下記の対処を行っても正常に作動しない場合は、本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから、お買上げ店またはアマダナお客様サポートセンターまでお問い合わせください。

全般

症状	原因	対策
電源を入れてもすぐに切れる	電源コードが正しく接続されていない。	電源コードが正しくコンセントに接続されていることをご確認ください 。
スピーカーから音が出ない	音量が最小に設定されている。	音量を調節してください。
	消音状態になっている。	消音を解除してください。
	音源が正しく選択されていない。	正しい音源を選択してください。
	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機の対応ディスクおよび再生しようとしているディスクの種類をご確認ください。
音が突然出なくなる	スリープタイマーを設定している。	電源をオンにして再生しなおしてください。
本機が正常に作動しない	本機が落雷や過度の静電気など外部からの強い電気ショックを受けた。	本機の電源をスタンバイにして電源コードを抜いてください。約 30 秒後に電源コードをコンセントに差し、電源をオンにしください。
周囲に設置しているデジタル機や高周波機器から雑音が出る	本機とデジタル機器または高周波機の位置が近すぎる。	本機とそれらの機器を離して設置してくた?さい。
時刻などの設定内容が消えた	本機への電力供給が 1 週間以上遮断されていた。	電力供給が 1 週間以上遮断されると、本のメモリーに登録された時刻設定が消えてしまうことがあります。この場合は時刻を再度設定してくた?さい。

ディスクの再生

症状	原因	対策
特定の機能がはたらかない	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機の対応ディスク情報および使用しているディスクの種類をご確認ください
【再生／一時停止キー】を押しても再生が始まらない(すぐに停止する)	ディスクが汚れている。	ディスクの汚れを拭きとってください。
	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機の対応ディスク情報および使用しているディスクの種類をご確認ください。
	本機を気温の低い場所から高い場所に移動したため、レンズ部に露が付いた	本機を 1、2 時間ほど放置してから再度操作してください。
ディスクが認識されない	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	ディスクを取り出し、お使いのディスクが本機に対応しているかご確認ください。
	ディスクが汚れている、または異物が付着している	ディスクを取り出し、汚れを拭きとってください。または付着した異物を取り除いてください。
	ディスクが裏返しにセットされている	ディスクを取り出し、レーベル面を右にして挿入してください。

故障かな?と思ったら

iPodの再生

症状	原因	対策
スピーカーから音が出ない	iPod が iPod 端子に正しく接続されていない。	iPod が iPod 端子にしっかり接続されているか確認してください。
音が歪む	元の音源(MP3)の音質が悪い。	元の音質が悪いと、スピーカーではより顕著にひずみやノイズとなって聞こえる場合があります。音楽 CD など違う音源で試してみてください。
再生できない	iPod のソフトウェアのバージョンが低い	最新版のソフトウェアのインストールをしてください。Apple Inc. のホームページよりダウンロードできます。

リモコンの操作

症状	原因	対策
リモコンで本機を操作できない	リモコンの操作範囲外から操作しようとしている。	リモコンの操作範囲については、「各部のなまえとはたらき(P.08)」をご参照ください。
	本機のリモコン受光部に直射日光や照明があたっている。	照明または本機の向きを変更してください。
	リモコンと本機のリモコン受光窓の間に障害物がある。	障害物を取り除いてください。

仕様　AD-203

総合

型番	AD-203
電源・電圧	AC 100～240V、50/60Hz
消費電力	22W
待機時電力	1.5W
外形寸法	幅326×奥行き160×高さ170mm
質量	約2.8kg
電源	ACアダプター
入出力端子	AUX×1、ヘッドホン出力×1、iPodコネクター×1

アンプ部

実用最大出力	10W

スピーカー部

ユニット	フルレンジ×2

対応メディア

CD	12cm CDのみ
iPod	iPod classic、iPod touch、iPod(5th gen)、iPod(4th gen)、iPod nano(3rd gen)、iPod nano(2nd gen)、iPod nano(1st gen)

CDについて

再生上のご注意

CD（コンパクトディスク）はディスクレーベル面に下記の マークの入ったものをご使用ください。パソコン用の CD-ROM など音楽用でないディスクは使用しないでください。異音の発生などでスピーカーやアンプの故障の原因となります。

※本機は音楽用 CD（CD-DA）に対応しています。
　ディスクの特性、傷、汚れ、録音状態によっては再生できないことがあります。

ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用できません。機器の故障の原因となることがあります。

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽 CD の再生について

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽 CD の中には正式な CD 規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

取り扱いについて

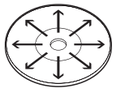
再生面（印刷されていない面）に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

再生面はもちろんレーベル面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。また傷などをつけないようにしてください。

レンタル CD の注意について

CD にセロハンテープやレンタル CD のラベルなどののりはみ出したり、剥がしたあとがあるもの、また飾り用のシールを貼ったものはお使いにならないでください。CD が取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

CD のお手入れについて



汚れにより信号読み取りが低減し、音質が低下する場合があります。汚れている場合は、再生面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。
汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなの揮発性の薬品は表面が侵されることがありますので絶対に使用しないでください。

製品の取り扱いについて

お手入れについて

製品の表面は時々柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた液に、柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと乾いた布で仕上げをしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

テレビやパソコンとの近接使用について

一般にテレビやパソコンに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートななものですので、普通のスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。
本機のスピーカー部は防磁設計になっていませんので本機をテレビから離してください。また、近くに磁石などが磁気を発生するものがあると本機との相互作用により、テレビに色むらが発生する場合がありますので設置にご注意ください。

取り扱い上のご注意

本機のスピーカー部は通常の音楽再生では問題ありませんが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。
1 発振器や電子楽器等の高い周波数成分の音
2 オーディオチェック用 CD などの特殊な信号音
3 テープレコーダーを早送りしたときの音
4 ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音

結露について

本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。
結露しているおそれがある場合は、本機の電源を入れて約時間放置してからご使用ください。

メモリー保持について

本機には、メモリー保持用の予備電源装置が内蔵されています。これは、お客様が設定した内容などを停電時などに保護するためのものです。本機の電源コードを抜いた状態で、メモリーを保持できるのは約 1 週間です。

設置場所について

本機は直射日光の当たる場所や蛍光灯、殺菌灯などの下使用した場合、紫外線等の影響を受けて変色することがあります。

Desktop Audio 2

AD-203

Instruction Manual

INDEX

21～23	SAFETY PRECAUTIONS
24～26	CONSTRUCTION
27	PRIOR TO USE/ADJUSTING THE CLOCK
28	BASIC OPERATION
29	LISTENING TO THE CD
30	LISTENING TO THE IPOD
31	RANDOM PLAYBACK/REPEAT PLAYBACK/LISTING TO THE EXTERNAL DEVICE
32	SETTING THE ALARM
33	STOPPING THE ALARM/USING THE SLEEP FUNCTION
34～35	TROUBLESHOOTING
36	ABOUT THE CDS/HANDLING OF DISKS
37	Afetr-sale service
38	Desktop Audio 2 Warranty

REALFLEET

REALFLEET co., ltd. m² Harajuku 5F, Jingumae 6-27-8,
Shibuya-ku, Tokyo Japan 150-0001 tel:+81-03-5774-0947 fax:+81-03-5467-0431
info_en@amadana.com

SAFETY PRECAUTIONS

Thank you for purchasing amadana Desktop Audio 2.
Prior to using it, read the Manual thoroughly for correct operation. After reading it, keep it at hand for your quick reference in case you have any doubt or trouble during use.

Safety Indications

The following lists the important safety precautions to prevent harms to you and others and damage on your properties. Be sure to observe them. The safety indications have the following meanings.

The precautionary notices are sorted into two categories, depending on the results of neglect.

⚠WARNING: Neglect of this precautionary notice could result in death or serious injury.

⚠CAUTION: Neglect of this precautionary notice could result in physical injury or damage on the properties.

The graphic symbols used in the Manual have the following meanings.

⚠	Used to invite your attention.
	Indicates what you are prohibited to do.
	Indicates what you have to do without fail.

⚠WARNING

Power Source/Power Cord

Do Not Forget

Connect a Power Plug to a Reachable Plug Socket within Your Sight.
This is to immediately disconnect the power plug in case of emergency.

Unplug

In the Following Cases, Turn off the Power Immediately and Disconnect the Power Plug from the Plug Socket.
* Abnormal smell or sound. * Water or a foreign substance inside the Apparatus
* Abnormal high temperature *Smoking
If the Apparatus is used in the above-mentioned states, it may cause a fire or an electric shock.

Prohibited

Do Not Damage the Power Cord.
* Do not place a heavy object on it. * Do not rework it.
* Do not apply an unnecessary force. * Do not staple it.
* Do not bring it close to a thermal appliance.
If the power cord is used with its core wire exposed, it may cause a fire or an electric shock.

Battery

Prohibited

Do Not Charge the Battery.
Charging the battery may cause a burst of the battery or a leakage of the battery liquid, resulting in a fire or physical injury.

Prohibited

Avoid Direct Contact with a Liquid Leakage from the Battery.
If the battery liquid gets into your eye or mouth or sticks to your skin, rinse it with water immediately and consult a medical doctor.

Disassembly Prohibited

No Disassembly

It Is Strictly Prohibited to Disassemble or Remodel the Apparatus. Never Open the Cabinet.
Neglect of this may cause a fire or an electric shock.
For repair or adjustment, ask our distributor.

Installation

Keep Dry

Do Not Install the Apparatus in the Following Places.
* Bath room, kitchen, seashore, waterside * High-humidity room
* Place exposed to the rain, snow or water

An entry of water into the Apparatus may cause a fire or an electric shock.

Keep Dry

In Order to Radiate the Heat, Observe the Following at the Time of Installation:
* Do not cover it with cloth. * Do not install it on a carpet.
* Do not install it on its back or side. * Do not push it into an ill-ventilated narrow space.

(Secure the space of 10 cm or more on its both sides, and above and behind it.)
Otherwise, the heat may accumulate in the Apparatus, causing a fire.

Precautions for Use

Keep Dry

Do Not Allow Metal Debris or Pieces of Paper into the Apparatus through a Disk Slot, Radiating Vent or Gaps in the Panel.
Neglect of this may cause a fire or an electric shock.

Do Not Forget

If the Apparatus Is Dropped or Damaged, Be Sure to Ask Our Distributor for Inspection or Repair.
If it is used as it is, it may cause a fire or an electric shock.

Do Not Touch

Once It Thunders, Do Not Touch the Power Plug.
Neglect of this may cause a fire or an electric shock.

Prohibited

Do Not Place a Vase, Flower Pot, Cup, Cosmetics, Chemicals, Candle, Etc. on the Apparatus.
An entry of water or a foreign substance into the Apparatus may cause a fire or an electric shock.
A contact surface is subject to secular change, damaging the appearance of the Apparatus.

Maintenance

Do Not Forget

Clean the Power Plug Periodically.
If it is used with dust accumulated on it, it may short-circuit, causing a fire or an electric shock.

⚠ CAUTION

Power Source/Power Cord

Unplug

When the Apparatus Is Not Used for a Long Period, Be Sure to Disconnect the Power Plug from the Plug Socket.
Neglect of this may cause a fire or an electric shock.

No Wet Hand

Do Not Connect/Disconnect the Power Plug with Wet Hand.
Neglect of this may cause an electric shock.

Prohibited

Do Not Pull the Power Cord to Disconnect the Power Plug.
It may be damaged, causing a fire or an electric shock.

Do Not Forget

Plug the Power Plug into the Plug Socket as Deeply as Possible.
If it is not deeply plugged in, it may cause an electric shock or catch dust, causing heat generation or a fire.

Prohibited

Use the Plug Socket into Which the Power Plug Is Firmly Plugged.
Neglect of this may cause an electric shock, heat generation or a fire.

Battery

Do Not Forget

Set the Battery in the Correction Direction According to Indicated Polarity (+ and -).
If set in the wrong direction, it may result in a burst or a liquid leakage, causing a fire or physical injury.

Prohibited

Use Only the Specified Battery.
Neglect of this may result in a burst or a liquid leakage, causing a fire or physical injury.

Prohibited

Do Not Carry or Store the Battery together with a Piece of Metal in Your Pocket or Bag.
The battery may short-circuit and result in a burst or a liquid leakage, causing a fire or physical injury.

Prohibited

Do Not Heat or Disassembly the Battery or Thrown It into Fire or Water.
It may result in a burst or a liquid leakage, causing a fire or physical injury.

Do Not Forget

Remove the Out-of-Life Battery Immediately from the Battery Case.
It may result in a burst or a liquid leakage, causing a fire or physical injury.

Do Not Forget

Dispose of the Used Battery According to the Local Ordinances or Rules.

Installation

Prohibited

Do Not Install the Apparatus in an Unstable or Vibrant Place.
It may drop or tumble, injuring you.

Prohibited

Do Not Install the Apparatus in the Direct Sunshine or an Abnormally Hot Place (Near a Heater).
Neglect of this may deform the Exterior of the Apparatus or Have a Bad Effect on Its Internal Circuit, Causing a Fire.

Prohibited

Do Not Install the Apparatus in a Dusty or Humid Place.
Accumulated dust may short-circuit it, causing a fire or an electric shock.

Do Not Forget

Install the Apparatus as Far away from Other Electric Appliances as Possible.
It uses digital signals which may affect other electric appliances.

Do Not Forget

Ask Our Distributor to Install an Outdoor Antenna.
Antenna installation work requires skills and experience.

Relocation

Unplug

To Relocate the Apparatus, Turn off the Power Switch and Disconnect All the Connections.
A connected device may drop or tumble, injuring you.
A cord may be damaged, causing a fire or an electric shock.

Precautions for Use

Do Not Forget

Minimize the volume prior to starting playback.
A loud sound may be suddenly emitted, causing a hearing disability.

Prohibited

Do Not Use the Apparatus for a Long Time with Distorted Sound.
A speaker may generate the heat, causing a fire.

Prohibited

Do Not Use a Headset to Listen to a Loud Sound for a Long Time.
You may have a hearing disability.

Prohibited

Do Not Put Your Hand into a Disk Slot.
The hand may be caught by the mechanism and injured.

Prohibited

Do Not Use a Cracked, Deformed or Glued Disk.
As the disk runs at high speed in the Apparatus, it may fly off, injuring you.

Caution

If the Ambient Temperature Changes Abruptly, the Apparatus May Have Dew Condensation.
If it does not function properly, leave it for some time with the power turned off.

Prohibited

Do Not Look into the Laser Source.
A laser beam may cause a visual disability.

Prohibited

Do Not Connect the Apparatus to the Commercial Equipment.
The digital audio interface standard differs between consumer use and commercial use. The Apparatus is designed to be connected to a consumer-use digital audio interface.
If connected to a commercial-use digital audio interface device, the Apparatus may go out of order.

Maintenance

Do Not Forget

Be Sure to Disconnect the Power Plug at the Time of Maintenance.
Neglect of this may cause an electric shock.

Prohibited

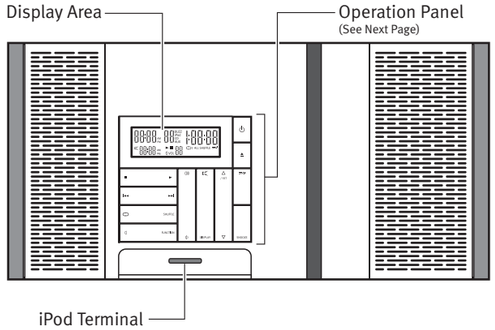
Never Use Chemicals.
Do Not Use Benzine, Thinner or Synthetic Detergent to Wipe the Exterior. Do Not Use a Contact Reactivating Agent.
They may damage the exterior or melt the parts.

Caution

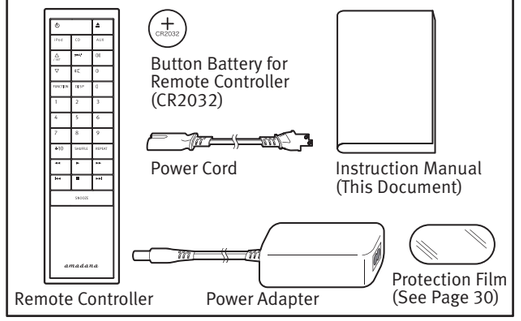
Ask Our Distributor Annually to Clean Inside the Apparatus.
If it is used with dust accumulated inside, it may cause a fire or a trouble.

CONSTRUCTION (MAIN UNIT)

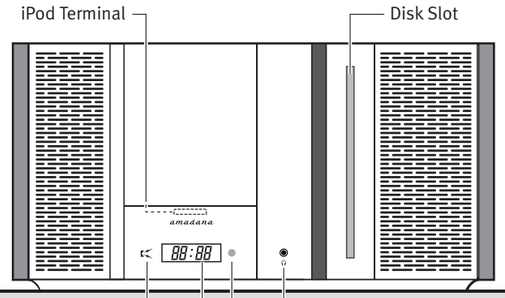
Top View



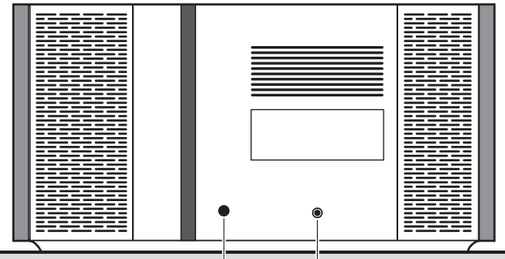
Accessories



Front View



Rear View



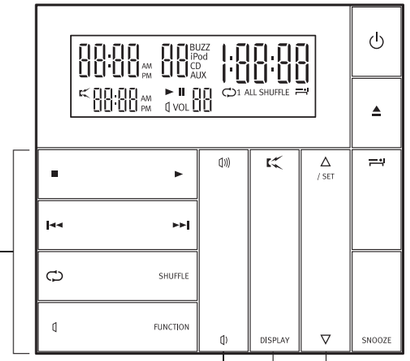
Acceptable iPods

- iPod 4th generation 20GB
- iPod 4th generation 40GB
- iPod 4th generation (color display) 20GB 30GB
- iPod 4th generation (color display) 40GB 60GB
- iPod nano 1st generation 1GB 2GB 4GB
- iPod 5th generation (video) 30GB
- iPod 5th generation (video) 60GB 80GB
- iPod nano 2nd generation (aluminum) 2GB 4GB 8GB
- iPod classic 80GB 160GB
- iPod nano 3rd generation (video) 4GB 8GB
- iPod touch 8GB 16GB

iPod is the registered trademark of Apple Inc. in the U. S. A. and other countries.

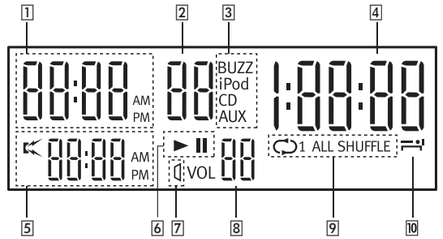
CONSTRUCTION (OPERATION PANEL AND DISPLAY AREA)

Operation Panel



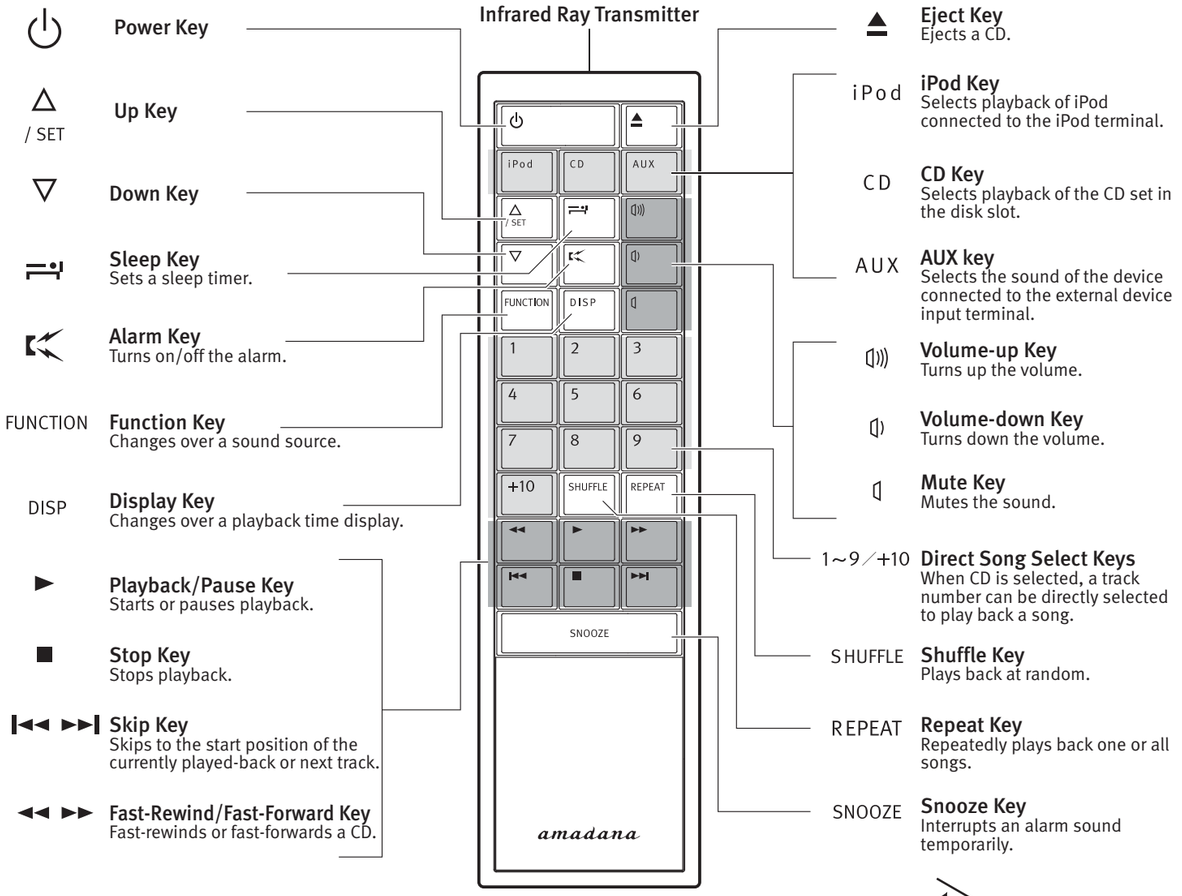
- ► **Playback/Pause Key** — Starts or pauses playback.
- ■ **Stop Key** — Stops playback.
- ►►| |◄◄ **Skip Key** — Skips to the start position of the currently played-back or next track. Holding it down fast-forwards or fast-rewind a CD.
- SHUFFLE **Shuffle Key** — Plays back at random.
- **Repeat Key** — Repeatedly plays back one or all the songs.
- FUNCTION **Function Key** — Changes over a sound source.
- **Mute Key** — Mutes the sound.
- **Volume-up Key** — Turns up the volume.
- **Volume-down Key** — Turns down the volume.
- **Power Key** — Changes over the power-on and standby modes.
- **Eject Key** — Ejects a CD.
- **Sleep Key** — Sets a sleep timer.
- SNOOZE **Snooze Key** — Interrupts an alarm sound temporarily. Also used for setting a time.
- / SET **Up Key**
- **Down Key**
- **Alarm Key** — Turns on/off the alarm.
- DISPLAY **Display Key** — Changes over a playback time display method.

Display Area



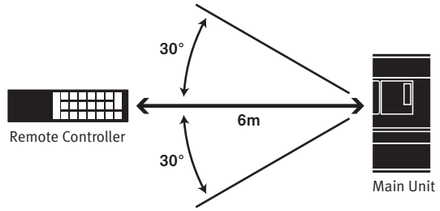
1. **Time Display** — Displays the current time.
2. **CD Track Display** — Displays a CD track number.
3. **Function Display** — Displays a selected sound source.
4. **CD Playback Time Display** — Displays a playback time, etc.
5. **Alarm Time and Alarm Mark Display** — Displays an alarm setting time and alarm-on/-off with an alarm mark.
6. **CD Playback Display** — Displays the CD playback status.
7. **Mute Display** — Blinks when the mute function is activated.
8. **Volume Display** — Displays the volume.
9. **CD Playback Mode Display** — Lit up at the time of repeat (one or all songs) playback and shuffle playback.
10. **Sleep Mark** — Lit up when the sleep timer is activated.

CONSTRUCTION (REMOTE CONTROLLER)



When operating the Apparatus with a remote controller, direct its infrared ray transmitter to the remote-control signal receiver of the main unit. A remotely controllable distance is up to 6 m from the main unit.

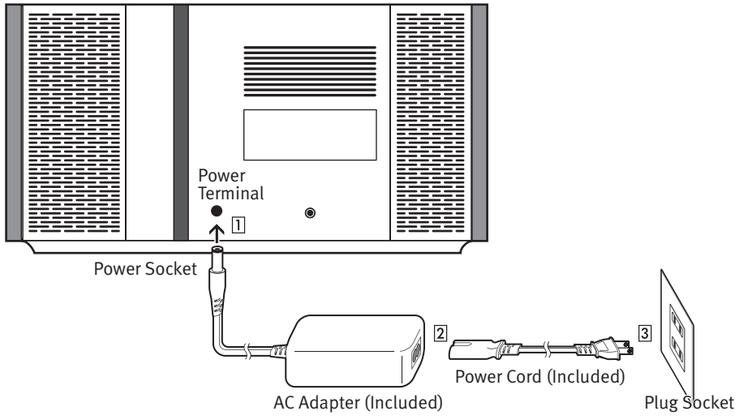
* If the remotely controllable distance is shortened, replace the remote controller's battery with new one.
* If the remote-control signal receiver is exposed to the direct sunshine or a light from a high-frequency lighting (inverter type, etc.) fluorescent lamp, the Apparatus may not function properly. If this is the case, relocate it to avoid malfunctioning.



About Replacement of Remote Controller's Battery (See Page 9)

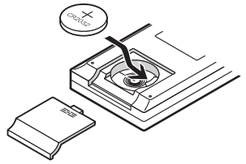
PRIOR TO USE

Plug a power socket onto the power terminal on the back of the main unit.
Connect the power cord to an AC adapter and connect the power plug to a plug socket.



Setting the Battery in the Remote Controller

1. Slide and remove a battery cover on the back of the remote controller.
2. Set the button battery CR2032 in the remote controller.
3. Put back the battery cover.



* Set the battery in the correct direction (+ and -).
* Remove the out-of-life battery immediately from the remote controller. If it is left inside, it may cause a burst or a liquid leakage.
* If the battery liquid is leaking, remove it from the remote controller immediately to dispose of it. When this is done, care should be fully taken not to allow your skin or clothes to come into contact with the leaking battery liquid. If the battery liquid is stuck to the remote controller, wipe it off completely, and then, set a new battery.
* Prior to replacing with the new battery, clean the battery case.
* Dispose of the used battery according to the local ordinances or rules.

ADJUSTING THE CLOCK

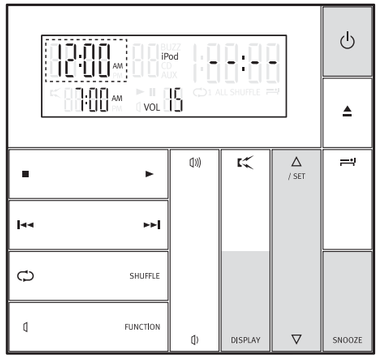
1 Press the [Power ⏻] key.
The power is turned on to illuminate the display

2 Hold down the [Up △/SET] key.
After holding it down, release it.

3 Press the [Up △/SET] and [Down ▽] keys to adjust a time.
* When this is done, you can press the [Display] key to change over between 12-hour and 24-hour display modes.

4 Press the [Snooze SNOOZE] key to settle.
Press the snooze key within 5 seconds.

Keys Used



Main Unit Operation Panel

BASIC OPERATION

Selecting the Sound Source

Remote Controller

Press the [iPod iPod], [CD CD] and [AUX AUX] keys.

Or, press the [Function FUNCTION] key.

Main Unit

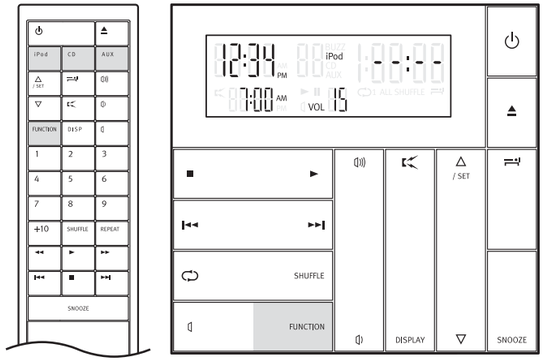
Press the [Function FUNCTION] key.

Every time the [Function FUNCTION] key is pressed;

→ iPod → CD → AUX (Ext. Device) →

* The selected sound source appears in the function display area.

Keys Used



Remote Controller Main Unit Operation Panel

Adjusting the Volume

Remote Controller **Main Unit**

Press the [Volume-up] or [Volume-down] key.

Volume level range: 0 to 30

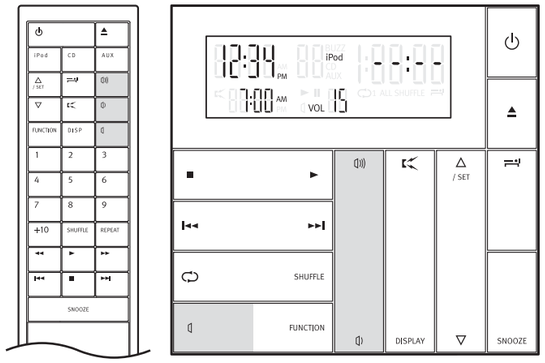
Muting the Sound Temporarily

Remote Controller **Main Unit**

Press the [Mute] key.

The sound is muted temporarily.
To turn on the sound again, press the [Mute] key or [Volume] key.

Keys Used

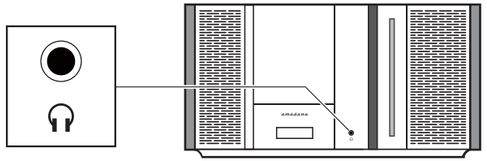


Remote Controller Main Unit Operation Panel

Using the Headset

Connect the headset's stereo mini-plug to the headset terminal.
Once the headset is connected, the sound from the speaker is muted.

Caution	When connecting the headset, turn down the volume.



LISTENING TO THE CD

1 Inserting a CD in the disk slot

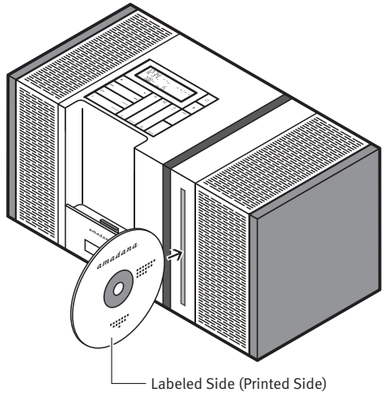
Insert it with the labeled side (printed side) facing the right.
Once the CD is inserted in the disk slot, it is automatically drawn inside.

* Only 12-cm CDs are acceptable.
* Do not force the CD into the disk slot.
* Do not put a foreign substance into the disk slot.
* The CD is automatically ejected if it is reversely inserted or an unacceptable one is inserted.
* The Apparatus is designed to play back a music CD (CD-DA) format; it does not respond to MP3 or WMA recorded in CD-R or CD-RW.

(See ABOUT CD on Page 18)

2 Inserted CD will be automatically played.

If the CD has been already set in the main unit, press the [Function FUNCTION] key to select CD, followed by the [Playback/Pause] key.



Pausing Playback

Remote Controller **Main Unit**

Press the [Playback/Pause] key.

To restore normal playback, press the [Playback/Pause] key again.

Skipping the Track

Remote Controller **Main Unit**

Press the [Skip] key.

Fast-Rewinding/Fast-Forwarding the CD

Remote Controller

Press the [Fast-Rewind] or [Fast-Forward] key.

Main Unit

Hold down the [Skip] key.

Stopping Playback

Remote Controller **Main Unit**

Press the [Stop] key.

Playing Back a Selected Song

Remote Controller

Press the [Direct Song Select] keys to enter song numbers.

Press the keys as follows for the 11th song onward.

11th song : +10 → 1
22nd song : +10 → +10 → 2
20th song : +10 → +10 (starts playback after 3 seconds)

Changing over the CD Playback Time Display Method

Remote Controller **Main Unit**

Press the [Display DISPLAY] key.

Every time the [Display DISPLAY] key is pressed

→ Elapsed Time of Track → Remaining Time of Track → Remaining Time of All Tracks → Elapsed Time of All Tracks →

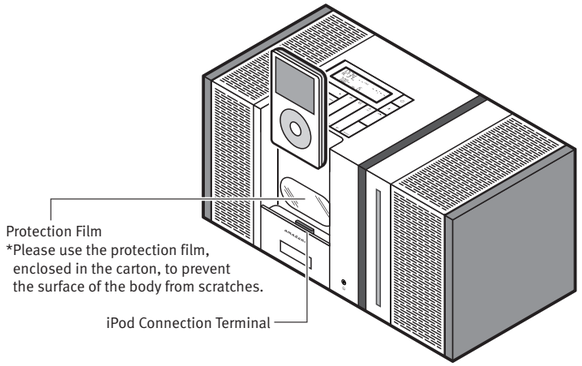
Ejecting the CD

Remote Controller

Press the [Eject] key.

LISTENING TO THE iPod

1. Connect iPod to the iPod terminal.
2. Press the [Function FUNCTION] key to select iPod.
3. Press the [Playback/Pause ►] key to play back.



Pausing Playback

Remote Controller Main Unit

Press the [Playback/Pause ►] key.

To restore normal playback, press the [Playback/Pause ►] key again.

Skipping the Track

Remote Controller Main Unit

Press the [Skip ⏮ ⏭] key.

Fast-Rewinding/Fast-Forwarding the iPod

Remote Controller

Press the [Fast-Rewind ◄◄] or [Fast-Forward ►►] key.

Main Unit

Hold down the [Skip ⏮ ⏭] key.

While playing back iPod, no track number, elapsed time of track, etc. appear in the display area of the main unit.
Check the display of the iPod body.

Display Example at iPod Playback Time

Stopping Playback

Remote Controller Main Unit

Press the [Stop ■] key.

RANDOM PLAYBACK/REPEAT PLAYBACK (CD-iPod COMMON FUNCTIONS)

Random Playback

Remote Controller Main Unit

Press the [Shuffle SHUFFLE] key.

Display Example at Random Playback Time

Repeat Playback

Remote Controller Main Unit

Press the [Repeat ⟲] key.

Every time the [Repeat ⟲] key is pressed

→ Repeats one song → Repeats all songs (iPod only: within a play list) → Cancels repeat playback →

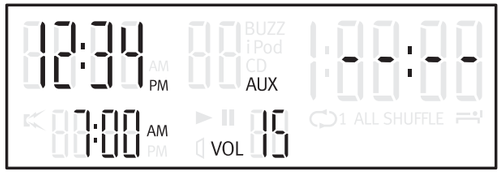
"Random mode" nor "Repeat mode" are not indicated on the display while the iPod is played. Please check the inserted iPod unit when checking the playing contents.

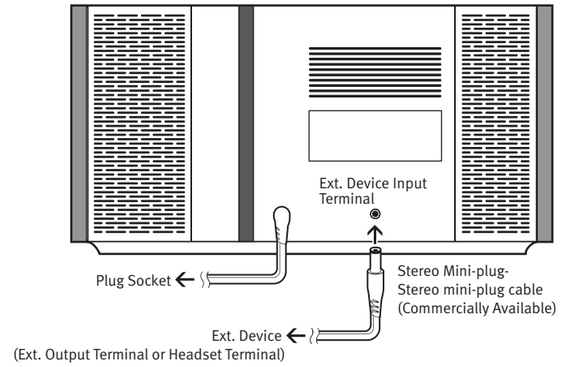
Display Example at 1-Song Repeat Playback Time

Display Example at All-Song Repeat Playback Time

LISTING TO THE EXTERNAL DEVICE

1. **Connect an external device to the back of the main unit.**
   Prior to connecting, turn down the volume of the Apparatus.
   Leave the external device turned off.
   Using a **Stereo Mini-plug-Stereo mini-plug cable** (commercially available), connect the external output terminal (or headset terminal) of your device to the external device input terminal on the back of the Apparatus.
2. **Press the [Function FUNCTION] key to select AUX.**
3. **Turn on the external device to play back.**
   For operation of the external device, see its instruction manual.





SETTING THE ALARM

Capable of Playing Your Favorite Song with CD or iPod in Place of an Alarm Clock.

Introduction

If there is no key entry for 5 seconds before completing alarm setting, the alarm setting mode is cancelled. To redo it, start from Step 1.

1 Selecting the alarm setting mode

Remote Controller Main Unit

Press the [Up △/SET] key.

An alarm setting time blinks.
* If the alarm cannot be set unless the clock has been set.

2 Setting the alarm time

Remote Controller Main Unit

1 Press the [Up △/SET] or [Down ▽] key to set the alarm time.

Remote Controller Main Unit

2 Press the [Snooze SNOOZE] key to settle the alarm time.

3 Setting a sound source

Remote Controller Main Unit

1 Press the [Function FUNCTION] key to select a sound source (iPod/CD/BUZZ (Buzzer)).

Every time the [Function FUNCTION] key is pressed, the display changes as follows

→ iPod → CD → BUZZ (Buzzer) →

Remote Controller Main Unit

2 Press the [Snooze SNOOZE] key to settle the sound source.

Only When CD Is Selected

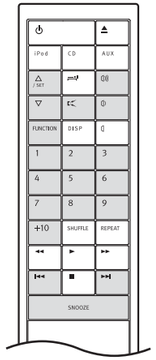
Remote Controller Main Unit

3 Press the [Skip ⏮ ⏭] keys to select the track you want to play back.

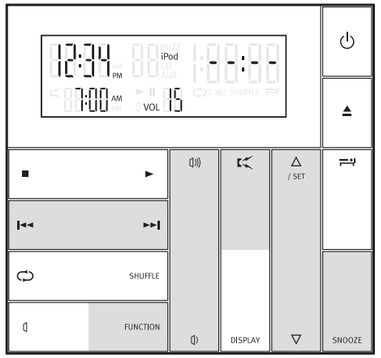
Remote Controller Main Unit

4 Press the [Snooze SNOOZE] key to settle the track you want to play back.

Keys Used



Remote Controller



Main Unit Operation Panel

4 Setting the volume and completing alarm setting

Remote Controller Main Unit

1 Press the [Volume-up] or [Volume-down] key to set the volume.

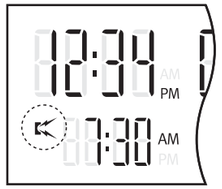
Only when BUZZ is selected, the volume can be chosen from 2 levels (VOL Hi or VOL Lo).

Remote Controller Main Unit

2 Press the [Snooze SNOOZE] key to settle the volume, thus completing alarm setting.

An alarm mark is lit up at the left of the main unit display and the time display area on the front of the main unit.

Front of Main Unit



Main Unit Display

5 Using "Stand-by" mode

Remote Controller Main Unit

Press [Power] key for "Stand-by" mode

*Alarm function will not be operated at the pre-set alarm time while "Stand-by" mode is not on. Please make sure that the operation is in "Stand-by" mode to use the alarm function.

STOPPING THE ALARM

Stopping the Alarm

Remote Controller Main Unit

Press [Alarm] key and then [Stop ■] key

*CD and iPod will not be operated will not be operated for the alarm function until [Alarm] key is pressed.
*For buzzer sound, the alarm operation will be stopped once [Alarm] key is pressed.

Using the Snooze Function

Snooze function:
Turns off the alarm sound temporarily and turns it on again 5 minutes later.

Remote Controller Main Unit

Press the [Snooze SNOOZE] key.

Valid for up to 60 minutes from the alarm setting time.

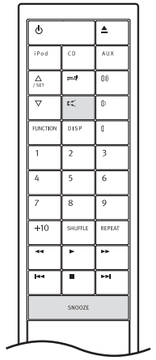
Shift the Alarm Function

Remote Controller Main Unit

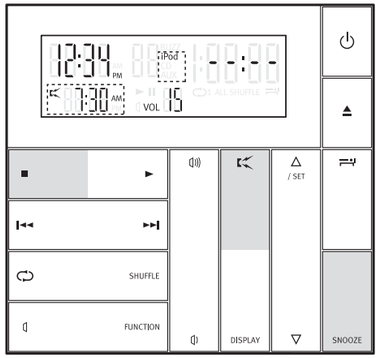
Press [Alarm] key and turn on "On" or "Off" on the display.

The alarm sounds again at the previously set alarm time.

Keys Used



Remote Controller



Main Unit Operation Panel

USING THE SLEEP FUNCTION

Capable of Turning off the Power Automatically When Sleeping

Setting the Sleep Timer

Remote Controller Main Unit

Press the [Sleep] key.

Every time the [Sleep] key is pressed, a setting time is extended. (Up to 2 hours)

→ 10 → 20 → 30 → ··· → 2:00 →
A sleep mark is turned off.

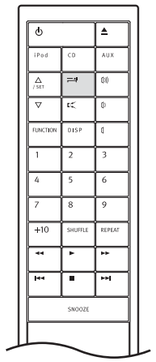
Checking the Remaining Time

A remaining time is displayed in the CD playback time display area by pressing the [Sleep] key again.

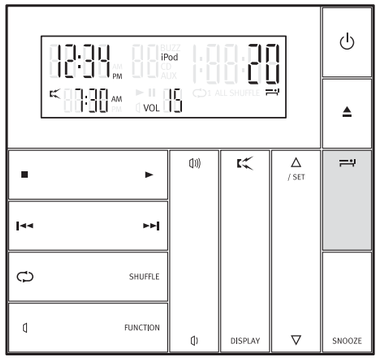
Canceling the Sleep Function

Keep pressing [Sleep] key until the "Sleep mark" is completely turned off.

Keys Used



Remote Controller



Main Unit Operation Panel

TROUBLESHOOTING

When the Apparatus does not function properly, check the following. If you notice any phenomenon other than the following or the Apparatus cannot be troubleshot by taking the below-mentioned remedies, turn off the power, disconnect the power cord from the plug socket and contact our distributor or Amadana Customer Support Center.

General

Phenomenon	Cause	Remedy
The power goes off immediately.	The power cord is not properly connected.	Make sure that the power cord is properly connected to the plug socket.
The speaker emits no sound.	The volume is set to the minimum level.	Adjust the volume.
	The sound has been muted.	Cancel the mute function.
	The sound source has not been properly selected.	Select the sound source properly.
	An unacceptable CD is being played back	Check the CD type acceptable to the Apparatus and that you are trying to play back
The sound stops abruptly.	The sleep timer has been set.	Turn on the power and play back again.
The Apparatus does not function successfully.	It was exposed to an external strong electric shock such as lightning or excessive static electricity.	Set the power to the standby mode and disconnect the power cord. Plug it back into the plug socket about 30 seconds later and turn on the power.
Noise is emitted by a surrounding digital or high-frequency device.	The Apparatus is installed too close to those devices.	Install the Apparatus away from them.
The setting data such as a time is lost.	Power supply to the Apparatus has been suspended for a week or longer.	If power supply is suspended for a week or longer, time setting saved in the memory may be lost. If this is the case, set the time again.

CD Playback

Phenomenon	Cause	Remedy
A specific function does not work.	An unacceptable CD is being played back.	Check the CD type acceptable to the Apparatus and that you are trying to play back
Playback does not start by pressing the [Playback/Pause] key (stops immediately).	The CD is dirty.	Clean it.
	An unacceptable CD is being played back.	Check the CD type acceptable to the Apparatus and that you are trying to play back
	Dew was condensed on a lens because the Apparatus was relocated from a low-temperature place to a high-temperature one.	Leave it for an hour or so, and then, operate it again.
The CD is not recognized.	An unacceptable CD is being played back.	Eject it to check whether it is acceptable to the Apparatus.
	The CD is dirty or has a foreign substance stuck to it.	Eject it to clean or remove the foreign substance.
	The CD has been set inside out.	Eject it and insert it with the labeled side facing the right.

TROUBLESHOOTING

iPod Playback

Phenomenon	Cause	Remedy
No sound is emitted from the speaker.	iPod is not properly connected to the iPod terminal.	Check whether it is firmly connected to the terminal.
The sound is distorted.	The sound quality of the original sound source (MP3) is poor.	If the original sound quality is poor, distortion and noise may be heard more clearly through the speaker. Try a different sound source such as a music CD.
iPod is not properly played.	Software version of the iPod is too old.	Please install the most recent software version into the iPod. Please refer to the official website of APPLE Inc. for its download.

Remote-Control Operation

Phenomenon	Cause	Remedy
The Apparatus cannot be operated with the remote controller.	You are trying to operate beyond a remotely controllable range.	See “CONSTRUCTION (Page 26)” for the remotely controllable range.
	The remote-control signal receiver of the Apparatus is exposed to the direct sunshine or lighting.	Change the direction of lighting or the Apparatus.
	There is an obstacle between the remote controller and the remote-control signal receiver of the Apparatus.	Remove the obstacle.

SPECIFICATIONS OF AD-203

General

Model	AD-203
Supply voltage	100 V to 240 V AC, 50/60 Hz
Power consumption	22W
Standby power consumption	1.5W
Outer dimensions	326 mm (W) x 160 mm (D) x 170 mm (H)
Weight: Approx	2.8 kg
Power source	AC adapter
I/O terminals	AUX x 1, Headset output x 1, iPod connector x 1

Amplifier Unit

Max. working output	10W

Speaker Unit

Unit	Full range x 2

Acceptable Media

CD	12-cm CDs only
iPod	iPod classic, iPod touchiPod(5th gen), iPod(4th gen), iPod nano(3rd gen), iPod nano(2nd gen), iPod nano(1st gen)

ABOUT THE CDS

Precautions for Playback

Use a CD (Compact Disk) which has the following mark on its labeled side. Do not use non-music CDs such as CD-ROMs for PCs. An abnormal sound may be emitted, causing a speaker or amplifier trouble.

* The Apparatus is designed for music CDs (CD-DA).
The CD may not be played back depending on its characteristics, damage, contamination or recording condition.

Specially shaped CDs such as heart-shaped or octagonal ones are not acceptable. Use of them may cause a trouble.

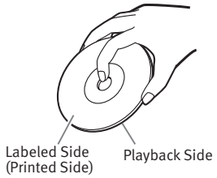
Playing Back the Music CD with Copy Control Function

Some music CDs with copy control function do not conform to the official CD standards. They are special CDs and may not be played back by the Apparatus.

Handling of CD

Hold the CD between your fingers by its edge or by its edge and a center hole in such a manner that you will not touch the playback side (non-printed side).

Do not paste a piece of paper or a sticker or write letters onto the labeled side as well as the playback side. Handle with care so as not to damage the CD.

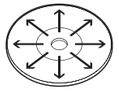


Precautions for Rental CD

Do not use a CD with adhered Scotch tape, overflowing glue of a rental CD label, removed rental CD label or adhered decorative sticker. The CD may not be ejected, causing a trouble.

Maintenance of CD

Contamination of the CD may affect a signal reading capability, lowering its sound quality. If contaminated, wipe gently the playback side of the CD with soft cloth to remove the fingerprints and dust, from the inner to the outer circumference.



If badly contaminated, soak soft cloth in water, wring it well to wipe off contamination, and then, remove moisture with dry soft cloth. A dust cleaning spray for analog records or an antistatic agent cannot be used. Never use volatile chemicals such as benzine, thinner, etc. because they may erode the surface.

HANDLING OF THIS PRODUCT

Maintenance

Wipe the surface of the CD with dry soft cloth from time to time. If it is badly contaminated, soak soft cloth in a diluted neutral detergent, wring it well to wipe off contamination, and then, remove moisture with dry soft cloth. Do not use hard cloth or volatile chemicals such as thinner, alcohol, etc. When using a chemical duster, read its instructions.

Close Installation to TV or PC

Generally, a cathode ray tube used for TV or PC is so delicate that it is affected even by terrestrial magnetism. If an ordinary speaker is used within a close range, its screen will have color irregularities or distortion.
Keep the speaker of the Apparatus away from the TV because it is not shielded. If there is a source of magnetism such as a magnet, the TV will have color irregularities due to mutual interaction with the Apparatus. Care should be taken for installation.

Precautions for Handling

If the following special signals are applied to the speaker unit of the Apparatus, there may occur burnout or snapping due to an excessive current.

1. Sound with high frequency component such as an oscillator, electronic music instrument, etc.
2. Special signal sound of an audio checking CD, etc.
3. Sound produced by fast-forwarding a tape recorder
4. Shock sound produced by disconnecting/reconnecting a connection terminal such as a pin cord

Dew Condensation

If the Apparatus is relocated from a cold place into a warm room or abruptly warmed in a cold room, waterdrops may be formed inside. This is called dew condensation. Dew condensation not only obstruct successful functioning of the Apparatus, but damage the CD and component parts. When the Apparatus is not used, it is recommended to remove the CD from it.
When dew condensation is suspected, turn on the Apparatus and leave it for an hour or so before use.

Memory Hold

The Apparatus incorporates a memory holding spare power unit. This is for protecting your setting data against a power failure, etc. With the power cord disconnected, the memory contents can be held for about one week.

Installation Site

If the Apparatus is used in the direct sunshine or under a fluorescent lamp or a sterilization lamp, it may be discolored by ultraviolet rays, etc.

Afetr-sale service

1. **Request for checking and keeping of the warranty.**
   Make sure to check the "dealer's seal/signature and the date of purchase" on the warranty before you receive it from a dealer. Read the contents of warranty thoroughly and keep it in a safe place.
2. **The validity of warranty is one year from the date of purchase.**
3. **Recommendation of "amadana" Customer Registration**
   We recommend the "amadana" Customer Registration to all our customers for you to enjoy using our products over a long period. Refer to the separate document for the privileges this service offers and how to register for membership.
   Deadline for the registration is one year from the date of purchase.
4. **About repair order**
   [Under warranty]
   Take the product with the warranty certificate to the store you purchased the product if it is under warranty. We will undertake the repair work according to the condition of the warranty.
   [Out of warranty period]
   If customers so wish, the repair work will be done on the product which can be used again after the repair. However, there will be a charge for the repair work.
5. **The tenure of the performance parts for maintenance* is 6 years from the discontinuation of production.**
   However, the different standard will applied for the customers who are registered for " amadana " Customer Registration. (See " amadana " Customer Registration Privilege provided separately.)
   *The term "the performance parts for maintenance" refers to the parts that are necessary for the maintenance of the product.
6. **Details of repair charges**
   Repair charges are composed of technical fees, parts prices and visiting fees. The technical fees include the cost of diagnosis of the nature and location of the problem and its repair, cost of change of parts, adjustment and checking at the completion of the repair work. Parts prices include the price of the parts used and of the auxiliary materials used for repair. The visiting fee refers to the cost of dispatching an engineer to where the product stands. (In the present case, the product should be brought to the store by the customer.)
7. **Do not hesitate to contact the store you purchased the product, or the support center of our company for any inquiries concerning our products including the details of the above contents, purchasing of the product as a gift and change of address.**

■ Never repair, disassemble, or remodel our products by yourself.

Desktop Audio 2 Warranty

In the event that the desktop Audio fails through normal use according to the notes on the instruction handbook and the main body, we offer free repair service. Please bring the product and this warranty to the dealer from which you bought this product. In the case of on-site repair service at the location of the product or shipping of the product, you will be charged the actual cost.

Model name	AD-203	Repair Note
*Customer information	Name TEL	
	Address	
*Date of purchase __ / __ , ____	*Dealer name and address	
Warranty period One year from the date of purchase (body)	TEL	

SAMPLE

■ Make sure to fill in all the fields indicated by *. If not, this warranty is invalid.

1. If you cannot come to the dealer from which you bought the product due to moving or if you are given this product as a gift, please contact our customer support center.
2. Even within the guarantee period, you will be charged for the repair service in the following cases:
   (a) Failure or damage due to erroneous use, remodeling, or unauthorized repair.
   (b) Failure or damage due to transportation, moving, or fall after purchase.
   (c) Failure or damage due to natural disasters including fire, earthquake, flood, or lightning strike, environmental pollution, damage from salt water, damage from corrosive gases (such as sulfide), abnormal voltage, invalid power source (voltage or frequency) etc.
   (d) Failure or damage when this product is used in a situation other than general household use (for example, long-term use for professional purpose, loading to a vehicle or marine vessel).
   (e) When this guarantee is not supplied.
   (f) When the date of purchase, customer name, dealer name are not filled out or when they are altered.
   (g) Exchange of consumable parts.
3. This warranty should be retained for future reference as this will not be reissued if you lose it.

Please note that the details provided by customers when filling in the warranty may be utilized for servicing activities during the warranty period and for safety inspection activities after the period has expired.
This warranty form guarantees free maintenance service during the period and under the conditions stated in the form. Thus, nothing stated in this warranty form shall be construed to limit legal rights of customers toward the issuer of this form (guarantor), as well as other distributors. Therefore, when any questions arise regarding maintenance after the warranty period expires, please contact the store of purchase.

REALFLEET co., ltd.
HARAJUKU 5F 6-27-8 Jingumae, Shibuya-ku, Tokyo Japan 150-0001 TEL +81-3-5774-0947
E-mail : info_en@amadana.com

アフターサービス

1 保証書の内容のご確認と保存のお願い

必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より1年間

3 「amadana」カスタマー登録のお勧め

「amadana」を愛着を持って末永くお使いいただくために、「amadana」カスタマー登録をお勧めしています。本カスタマー登録の特典や登録方法は別紙の通りです。
商品お買い上げ後1年以内が登録期限です。お早めにご登録ください。

4 修理をお申しつけされるとき

≪保証期間中≫　製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に基づき修理いたします。
≪保証期間を経過しているとき≫　修理すれば使用できる商品は、ご要望により有料修理いたします。

5 補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後6年間です。

ただし、「amadana」カスタマー登録に登録いただくと別規定を適用させていただきます。（詳細は別紙「amadana」カスタマー登録特典をご覧ください。）
※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

6 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料、部品代、出張料などで構成されています。技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。（本機の場合、持ち込み修理となります）

7 上記の内容についての詳細、贈答、転居の場合など、その他、製品に関するお問い合わせ、ご質問がございましたら、お買い上げの販売店または、弊社のサポートセンターまでお気軽にご相談ください。

■ お客様ご自身での修理、分解や改造は絶対にしないでください。

「amadana」カスタマー登録のお勧め

「amadana」商品をお買い上げいただき、有難うございます。「amadana」を愛着を持って末永くお使いいただく為に、「amadana」カスタマー登録をお勧めしています。本カスタマー登録の特典や登録方法は下記の通りです。

ご登録いただいたお客様への特典

※ご登録いただいたお客様に対してのみの特典です。
※特典の内容は予告なく変更する場合がございます。
※ご登録の期限は、商品購入後1年以内です。
※このサービスは日本国内のみ有効です。

特典1

ご登録いただいたお客様が、愛着を持って末永くお使いいただけるよう、商品発売後 15 年間は修理用部品を保有し続けることをお約束いたします。(液晶ディスプレイ、半導体部品、ピックアップ、木、または竹製部品など、保有に耐えられない部品は対象外とさせていただきます。また、保障期間外の修理費用はお客様負担とさせていただきます。)

特典2

万が一、修理が必要になった場合、お客様のご指定の場所まで商品を宅配便にて取りに伺うサービスを提供いたします。(ただし、保証期間外は修理費用は有料とさせていただきます。また、配送にあたって梱包をお客様ご自身で実施いただけない場合、本体重量が10kgを超えるような商品、また移動の困難な商品の場合は対象外とさせていただきます。)

特典3

最新の商品情報、キャンペーン情報等を定期的にご案内いたします。
(情報提供を希望されたお客様が対象となります。)

登録方法

下記のカスタマーご登録、詳細は下記Webサイトにアクセスして下さい。 携帯電話からもご登録できます。

※携帯電話からご使用の場合、一部機種はご使用になれない場合がございます。
※このカスタマー登録対象商品は「amadana」ブランド商品のみとさせていただきます。

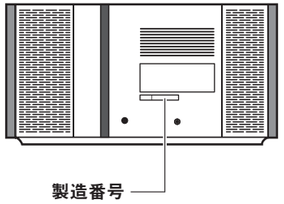
http://www.amadana.com/customer

登録する時に必要なもの

本紙に記載されている「登録コード」と本体に記載されている「製造番号」が必要です。

登録コード	A774D10	※アルファベットのI/L/Oは使用しておりません
製造番号	本体裏に記載されている番号です。	

登録にあたっては、上記Webサイトに記載の注意事項をよくお読みください。



デスクトップオーディオ2 保証書

取扱説明書、本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。製品のある場所での出張修理や製品輸送の場合は、出張料や輸送料などの実費を申し受けます。

型　名	AD-203	修理メモ
■お客様 お名前	TEL	
■お客様 ご住所　〒		
■お買い上げ日 年　月　日	■販売店名・住所	
保証期間 お買い上げ日より 本体1年	TEL	

見本

■ 印欄に記入のない場合は無効となりますから、必ずご確認ください。

1. ご転居、ご贈答などで、お買い上げ販売店にお申しつけできない場合は、弊社のお客様サポートセンターにお申しつけください。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ) 使用上の誤り、および改造や不当な修理による故障および損傷。
   (ロ) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
   (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷。
   (ニ) 一般家庭用以外(たとえば業務用の長時間使用、車輌、船舶へのとう載)に使用された場合の故障および損傷。
   (ホ) 本書のご提示がない場合。
   (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書きかえられた場合。
   (ト) 消耗部品の交換。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
4. 本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保存してください。

■お客様にご記入いただいた記載内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
■この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または弊社のお客様サポートセンターにお問い合わせください。

株式会社　リアル・フリート　〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-27-8 tel 03-5774-0947

修理に関するご相談

(株) リアル・フリート　修理後相談窓口
ナビダイヤル 全国共通番号 0570-077-773

受付時間　10:00〜19:00　月〜金（土・日祝祭日は休み）
■ファクシミリでのお問い合わせ Fax 0570-022-227

消耗品や部品ご購入などのご相談

(株) リアル・フリート　お客様サポートセンター
フリーダイヤル 0120-161914

受付時間　10:00〜19:00　月〜金（土・日祝祭日は休み）
携帯電話・PHS の型はこちらへ　Tel 03-5774-0947
■ファクシミリでのお問い合わせ Fax 03-5467-0431

製品の「品番・お問い合わせ内容」とお客様の「お名前・ご住所・電話番号・FAX 番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。